



沖縄旅行情報

うちなーごと

秋・冬号 FREE



CONTENTS

ドライブで感じるうちなー空気

県民推薦 **ドライブスポット**

p6 古宇利大橋 p8 道の駅
p10 ニライカナイ橋 p12 奥武島

県内中部はアメリカンエリア

ひと味違う **うちなーアメリカン**

p16 アメリカンスペース p18 Ammy's シミ
p20 奥浜アメリカンヴィレッジ

知る人ぞ知る！レアなお宝に出会えるかも！?

潜入レポ **DEEP なうちなーフリマ**

p22 キャンプコートニー フリーマーケット
p24 ハンビーナイトマーケット

もう行った？お土産、思い出、忘れ物はないですか？

間違いない **王道を攻めるならここ！**

p26 琉球ガラス村
p28 ナゴロオナツプルパーク そぼやちん小
A&W 御菓子屋舗



空と海と空気をまとめて

ドライブで感じる

沖縄旅行でより沖縄を感じたいなら、車でドライブが一番！行き先なんてなくたって、走っているだけでも心がリフレッシュすること間違い無しです。そこで見つけたお店にフラッと入れば、今まで知らなかった沖縄に気づく事だってあるかも！そこで、ドライブにピッタリなスポットをここでは紹介します。沖縄の青いと空、そして本土とは違う独特の空気や街並を堪能してください！



沖縄の中部に集まる アメリカンスポット

沖縄中部は米軍基地があり、米軍向けの店舗も多い。もちろん内だけじゃなくドルも、沖縄県内にあるほとんどの店に取り扱いが可能！
そんな沖縄だからこそ、アメリカな雰囲気を取り入れた店舗も多い！日用品から食べ物、雑貨が揃って。そこで、県内中部にある沖縄のDEEPなアメリカンスポットを紹介しませう。

SPOT 1 AMERICAN SPACE



SPOT 2 Jimmys



SPOT 3 AMERICAN VILLAGE



うさぎーどと 14

Okinawa Center Area



アメリカンスペース

大きな数々の扉を区画立て、その中に入ると何やらおもちゃや、輸入雑貨、古着や年代物のフィギュア、たまごごちやごちやな店内、中には「これは赤い物ですか？」と聞きたくするような物も (笑)
古着はほとんどガメンス物で、軍服などがあつたりします。おもちゃ、雑貨などは無と手頃な値段で、パーティーグッズなど、輸入品ならではの品が揃って！聞かずに日本に運送してないキヤクターのぬいぐるみやノートなど、見ているだけでも楽しめます。

店舗の前には国道8号線が通っており、無断で目立つ看板の下にはマリリンモンローとジェームスディーンが！ (笑)
遊びがたい話まっているアメリカンスペース。ちょっと変わった、海軍特製のアメリカンスタイルを揃えてはどうか？



SPOT 1 AMERICAN SPACE

66
見ているだけでも
一日潰せる！ (笑)

99



お店全体がおもちゃ箱みたい！！
レアな物も9年代物、
外国産品まで！国産も安心！！
お店の雰囲気万人受け

アメリカンスペース

住所 沖縄県中頭郡糸島町
糸島 2-1-1
TEL 098-936-7939
営業時間 10:30 ~ 19:00
火曜日は定休日
駐車場 有 (約20台)





Jimmys シミー

県内2の店舗もあるシミー。ここはベーカーとオリジナルスイーツで長年誇りに思われているお店です。そのなかでも、県内中部にはアリバリーヤレストラン、スーパーなどもあり輸入品を多く扱っています。

食品はもちろん、衣類や日用品など、お店の半以上は輸入品です。県中部には米や野菜が多くあり、米や肉の食品を多く扱っているのが、輸入品ということ、やっぱりちょっと値段が高いのはおめいれですが、ここでは日本の物と同じくらいの値段がとれれば大満足しています。他にもお肉土産品はピッタリなお肉や、調味料、食品など、お土産ショップよりもはるかに安い値段で販売しているため、お土産探しにもってこいのお店です。なかなか見付かない本場産な産物が満載であるシミーのスーパーは観光客にぜひおすすめですよ！



SPOT 2 Jimmys



まるで外国のスーパーマーケット



Jimmys シミー 嘉手納店

住所 沖縄県 嘉手納町 512-3
TEL 098-956-1010
営業時間 10:00 ~ 21:00
駐車場 無
有 (約 25台)



AMERICAN VILLAGE

県中部、全米州美談。ここは県内の中でも人気のアートスポットです。アメリカンスタイルの街並は、歩いていけるだけでもテンションが上がること間違いなし！ 賑わいは驚異的なレベルです。ここでは色鮮やかなファッション、そして各店舗はすべてこのエリアでプロ野球キャンプ。なので、この時期に行ってもいつでも賑やかなこの場所。

ここではほとんどの店舗で円だけでなくドルも受けるので、外人も多くて、外国語が通じます！ (笑) 本場のアメリカンハンバーガーショップや、肉料理のお店など、リゾートではなかなか見付からないようなお店が揃っています。大さな賑わいは毎日アメリカンウィレッジは、365日昼夜問わずに賑わい続けるおススメです。



SPOT 3 AMERICAN VILLAGE



街全体がアメリカンテイストで、日本にはない感じがしない！ 昼間でも夜でも、賑やかな場所だから平日でも人が多く！

AMERICAN VILLAGE

住所 沖縄県 北谷町 美談 9-1
TEL 098-926-3322
営業時間 10:00 ~ 21:00
月曜日は定休日
駐車場 有 (約 100台)



CAMP KHOTONY



Early Morning Flea Market

うるま市天原のキャンプコートニー。朝の7時前から基地の入り口は大混雑。どうやらこんな早起きしてでも来る価値のあるフリマらしい。7時に基地の入り口が開くや否や、車から降りた人達はダッシュ！私も負けず入っていくと、「オハヨウゴザイマス」とカタコトの挨拶と共に会場マップを頂きました。

中に入ってみると、どこも家族揃って出品の準備。その会話はもちろん全て英語で、ここが日本ってことを忘れるほど(笑)

このフリマの多くは、子供用品と、家具。日本では販売してないであろう品が多く、面白い物が沢山！それになぜかすべていい匂いがする気がするのは私だけ？(笑)

私初めて行ったキャンプコートニーのフリーマーケット。そこは、今まで行ったフリマの常識が全然違っていました。



日本語は通用しない！

出店している方を見ると、家族が多い！朝早くから一生懸命お手伝いしているブロンズ少女を見て、なんだか映画のワンシーンのように思えます。ですが、それが一瞬にして数センチに…。これいくら？と聞けば、理解不能な英語をペラペラと(苦笑)子供の無邪気さは時に感動ですね。子供の言っている言葉さえ理解できない私は、ゆり言葉の敬愛者です。注意其の三は質問は大人にしましょう。カタコトが神様に見えるはず(笑)

輸入菓子を激安価格でゲット

引くくらのアカサのスナック菓子が300円くらいの値段で販売されていた。ここはその他にも、ソースやアメリカ産菓子もあり、一つ30円位で販売していた。この価格の理由を聞こうと取材を試みたものの、日本語しか話せない私は断念。ただ一つだけ成功した会話は「フォトオーケー？」、「ノー」のみでした。注意其の三は細かい事は気にするな！(二回目)

THIS DEEP SPOT

朝からアメリカン！

朝からお昼にかけて開催されているこのフリマ。ここでは屋台が出ており、朝食を取るお客さんも少なくはなかったのですが、その朝食が見るからに高カロリー！さすがアメリカ！と関心しつつ、食べてもいけないのに匂いだけで飽く覚えたのはこの私です。注意其の一は、前日の夕食はさっぱりした物を頂きましょう(笑)

とにかく雑！

出展者がみんな基地で暮らしている米軍関係の外人達で、その国民性なのか何かと雑！(笑)売っている靴は、右と左が違う靴だったり、値段設定が聞く人によって違ったり(苦笑)注意其の二は細かいことは気にするな！



袋は持参すべし！

全体的に言えることですが、大きい物は基本車のままのお持ち帰りになります。なので大きい袋を用意していくといいでしょう！



TYATAN FLEA MARKET



HANBI NIGHT MARKET

北谷町北谷で毎週土日の夕方から開催されるハンビーナイトマーケット。外人の出展者も多く、日本では未発売の物が売っていたり、面白い商品が盛りだくさんです。ここはどこか？といった異国情緒あふれる雰囲気、格安価格で面白い物が買えます！ホットドッグやチキンといった屋台も数軒あり、ちょっとしたお祭りのような空気で賑やか！

道路を挟んで会場が二つに分かれていて、服や小物、CDやお土産など多くのお店があり見るだけでも楽しい！平日もやっているのですが、週末のほうは遥かに店舗数も多く、賑わっているので行くなら週末をお勧めします！

とにかくこのフリマは安い！沖繩の守り神サーサーが千円で販売していたり、食器のセットが200円だったり、アクセサリーなどは100円以下！ここまで安いとなんだか裏がありそうですね(笑)

実際にはそんなに治安がいいわけでもないで、取材もなかなか難しかったのですが、そこで私が体験した事をふまえて注意点とレポを書きさんに届けたいと思います。

謎のハンドクリーム

出店で商品として売られているもので一番驚いたのは、明らかに使いかけのハンドクリームや香水、一瞬、自分の目を疑ったが、何気見ても確実に一回、いや何十回か使用した痕跡がある。

まっとう、何回が使ったがやっぱり気に入らないからと、販売しているのだから、と自分なりに考えたが、その状態で誰か買うかという疑問が残った。注意其の三は、「これ売り物なの？」なんて言葉は絶対に禁句！

破格のブランド物に群がるヤンキー学生

客席を見ていると、なんだかやたらヤンキーな学生が多い！そして観察してみると彼らの目線では破格のブランド品、ちょっと気になり「これって本物？」と聞いた私に「は？それ聞か？」と、驚きの学生に笑われました。彼らにとってはそれが本物かどうかは対して重要じゃないようです。注意其の二は、つぶやきはケータイでしましょう！



THIS DEEP SPOT

取材開始5分でまさかの中止！?

そうなんです。悪運だったのです。私は始り頃に来た以来で知らなかったのだが、会場の空気が気づいてしまいました。それに何だか、やたらイカツイ風人が会場を観察している気が…。(苦笑)観光で訪れる際の注意其の一は、まず鈍感になれ！(笑)



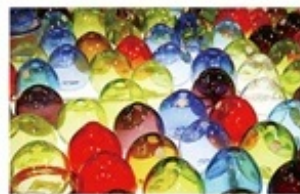
大事なのは根性

まるでディズニー映画に出てくるようなありえない色のケーキが沢山あった。「一体これは何様なんだ。」と私はずきまケータイで写真を撮るつもりでいた(笑)そしてそのケーキを写真に写そうとしたその瞬間に「シャッダメ！」と奥から声が、そこには驚くほどに強い風が！「ソーリー」と言われて一杯でした(泣)注意其の四は、「そこをどうにか」という英語を覚える！(笑)





琉球ガラス村



一つ一つ職人が手作り

沖縄の伝統工芸の一つ琉球ガラス。本島最南端の糸満市にあるここ「琉球ガラス村」は島内最大の手作り工房で職人が一つ一つ手作りしている。

色鮮やかな琉球ガラスは、太陽の光に当たるとキラキラしてとても綺麗！琉球ガラス作品は定番のグラスから、お皿、造花、花瓶、置物と多くの商品を取り揃えています。

建物全体をガラスのタイルと欠片で埋め尽くし、職人が作っている工房もお客さんに見える場所があり、無料で見学ができます。見学エリアからでも感じる釜の熱気の中で、汗を流しながら丁寧に作っている職人技は目が離せないほどのです。

そして、ここでは様々な体験が出来るのも魅力の一つ。短時間で出来るグラス作り体験や、じっくり時間をかけて濁った赤い作り体験。全部で約10の体験コースがあり、整ったものだと、小学生から体験可能なので、旅行の思い出作りにはピッタリだと思えます。



沖縄県糸満市
098-802-5111
平日 9:00~22:00
日 10:00

新鮮なパイナップルと南国フルーツのテーマパーク！

パイナップル食べ放題で、パイナップルのワインやお菓子の試食もしよう！パイナップルの形のカートに乗って、園内を回るので、小さい子供が一緒に十分楽しめると思います。パイナップルだけでなく南国の植物やフルーツも沢山見れるので、思い出作りにはピッタリ！



ナゴパイナップルパーク

住所 沖縄県糸満市南又 1199
TEL 0980-93-3699
営業時間 9:00 ~ 18:00
年中無休

お土産ならここ！元祖紅いもタルトのお店！

沖縄土産で有名な紅いもタルト。それを生み出したのがこの御菓子御殿です。他にも多くのオリジナルのお菓子やお土産が沢山あります。ここの一層の魅力は、紅いもタルトの製造工程が見えることです。大きなガラスの向こうで作っている紅いもタルトはここで試食もできます！



御菓子御殿 恩納店

住所 沖縄県恩納郡宇流志原 100番地
TEL 098-982-3388
営業時間 8:30 ~ 19:30
7月中旬 ~ 9月
8:30 ~ 21:00

トロトロ軟骨ソーキとカツオベースのスープがキメて！

平日なのに満席の店内。この沖縄そばは、カツオと軟骨ダシのスープに、骨までトロトロのソーキがずっしり乗ってます。それだけで十分美味しさは伝わりますよね？そばセットは更に沖縄風炊き込みご飯のジュシーもついてきてお得！麺の種類も2種類からお好みで選べます。



そば屋ちら一小本店

住所 沖縄県尚志町御新川 218-2
TEL 098-889-6626
営業時間 11:00 ~ 22:00
土日 10:30 ~ 22:00

アメリカ生まれのドライブイン！

日本で最初のファストフードはここA&W(通称エンダー)。このメニューはどれもボリュームがハンパない！それからオリジナルのオレンジジュースは、ここでしか飲めない味わい！停車して注文する珍しい形式のドライブスルー。是非、沖縄で体験して欲しいです！



A&W 牧港店

住所 沖縄県浦添市牧港 4-9-1
TEL 098-816-6081
営業時間 年中無休 / 24H
6:00 ~ 13:00 営業

●この作品で伝えたかったこと

日本人は自分の生まれ育った場所を大事にする気持ちが強いと思います。例に漏れず、私も地元の好きな所をあげたらキリがありません。

観光地としての沖縄と地元としての沖縄のイメージにギャップがあるのは仕方の無い事だとこの制作で気づきました。

なので今回は「観光地沖縄」というよりは「地元沖縄」を紹介するような気持ちで制作をしました。

「地元沖縄」としての魅力はやっぱり「島」というです。

いちゃりばちよーでー という言葉が沖縄にはあって、一度会ったらみんな兄弟 という意味です。ここでは、よそ者など存在しないので、疎外感がなくなんでも受け止めてくれる人が沖縄には多い気がします。

だから沖縄がアメリカから日本に返還された今でも、アメリカ文化が定着されたままなのかもしれない気がします。

沖縄から本土へ行き、初めて沖縄は独特の文化が多い事に気がつきました。例えば沖縄では多くの店でドルが使えたり、先祖に対しての敬意が強かったり。

今回の企画で一番伝えたかったのは「地元沖縄」の魅力です。

観光地としてなら多く人が訪れて知っていると思うけど、もっともっとリアルな沖縄を知ってほしい。観光では感じる事無い文化や風習を感じてほしい。という思い出制作しました。

県民には当たり前な文化が、実は独特だったと気づいた私はここが沖縄の一番の魅力だと思いいこの企画にしました。

リゾートや、世界遺産、綺麗な海。ガイドブックに載っている沖縄はどれも同じですが、そこへ訪れて初めて感じるリアルな沖縄が伝わればいいな。とあって、取材をしました。

学生最後の作品で、自分の大好きな沖縄をテーマにした作品が作れて今は達成感でいっぱいです。

いろいろ試行錯誤して、何度も何度も、作り直して、それでも未だに納得はできてなくて、自分の力不足を思い知りましたが、これが今の私の精一杯です。

この雑誌で少しでも、リアルな沖縄が感じられたいいなと思います。

編集 城間友貴

●うちなーことを作るきっかけ

やっぱり自分の一番の特徴は沖縄出身だと思っています（笑）

それだけで、だいぶちやほやされたりした事もあったし。

そこで必ず沖縄っていいよねーって話になり、沖縄旅行の話を書くがなんかみんな同じネタでなんか損してると感じたので、地元の人から目線の沖縄旅行を楽しむのも面白いと思って作ろうと決めました

それに、地元の作品を一つは作ってみたかったから！

●取材したお店や場所について

まずネットにある沖縄観光ツアーについて調べて、そこであまり取り上げられていない場所にしました。それから今回の雑誌のターゲットは一回沖縄旅行をした事があり、ある程度定番の観光スポットを行った人。なのでツアーではあまり感じる事の出来ない、リアルな沖縄を感じてもらえるように場所も選びました。

●沖縄取材での裏ネタ

フリマの取材2本はキツかった。アポを取ろうにも、どこに取っていいのかわからずアポ無しで行ったら、基本どこも写真NG。それに外人の出展者も多く、話を聞く事もできずに…。

お客さんもヤンキーが多くて、びくびくの連続でした。

それから、ドライブの写真は橋が多くて、車の上から頭を出してだいぶ不安定な体制で取った写真。なのに天気が悪く沖縄感が全然出ずに苦労しました。

●制作でのこだわり

毎回単調なデザインになりがちで、自分の作品を見るとなんかしょぼいを感じてしまう私。そこで今回はいろんなタイプのデザインに挑戦したいと思いながら、雑誌を参考にしたり、過去の作品の意見を参考にしたり。何回も試行錯誤しながら作り直しました。

文章にもっと沖縄の方言を入れたかったけど、意味の分からない文章になるのは嫌だったので、その案配が難しかったです。

Happy Icecream

沖縄旅行情報

ふたなーごと

秋・冬号

〒530-10002 大阪府北区
曾根崎新地2丁目5番23号
06-6341-4407

発行人/城間 友貴
編集人/城間 友貴
発行所/ビジュアルアーツ専門学校

大阪



Born in American FLAVORS
Since 1948

アメリカ生まれ沖縄育ちの
ブルーシールアイスクリーム



定価 ¥0

